

第3章 川づくりの基本的考え方

3.1 整備の目標

以上に示した美山川の現状の課題を踏まえ、川づくりの目指すべき姿として次の3つの目標を設定する。

< 整備の目標 >

アユなどをはじめ様々な生き物にとってやすらぎのある美山川
瀬や淵、河原の保全再生による自然の変化に富んだ流れの美山川
人々が川とふれあい、やすらぎを感じる美山川

3.2 基本方針

上記の目標を達成するための具体的な川づくりについて、次の4つの基本方針に沿って進めていくものとする。

< 基本方針 >

河道を上下流方向に分断化している堰等を改善し、魚類等の遡上や降下が自由にできるようにする。

河道の変遷や河川の自然な流れを考慮しつつ、堆積土砂の除去を行い、瀬や淵、河原の再生など変化に富んだ流れを創出する。

流域の砂防堰堤について、堆砂状況に応じた堆積土砂の除去を行い、土砂流出抑制機能の保全を図る。

美山の観光拠点の一つである「かやぶきの里」北集落前において、魚類等の生息に配慮しつつ、周辺景観とも調和のとれた河川整備を行い、川とのふれあいの場を創出する。